

産山村初春の星空観察会

西の空低く輝く 水星を見よう



天空が広がるうぶやまの高原にも暖かい春の風が吹きはじめ、陽も長くなり春の気配が感じられます。星空は東から春の星座が昇り始め、秋の星座は西へと沈み始めています。

この時期大変珍しい水星が、西の空低く -0.3 等級で輝いています。水星は、普段は太陽に近いためになかなか見ることができないのですが、2月27日に東方最大離角（太陽の東側に最も離れる）になるので前後一週間程度は見えています。 -0.3 等級と明るいのですが、夕方の薄暮で周りはまだ明るいので肉眼で見るのは難しいかもしれません。位置は18時30分頃、真西の高度10度くらいで、双眼鏡があると容易に見えます。ただし、太陽に近いので絶対に双眼鏡で太陽を見ないようにしてください。

さらに19時30分頃、南の空低く祖母山の山の端に、この星を見たら長生きするといわれているカノープス（古代の中国では寿老人、南極老人星と呼ばれた）が良く見えます。これは今の時期、この時間帯しか見ることができません。

天文台のドームで北風をしのげるので快適な星空観察が楽しめます。さらに、天文台にはホットカーペットが入りましたので足元を温かくして観察できます。ぜひうぶやま天文台に星を見にお越し下さい。

期 日 : 平成31年3月7日(木)
時 間 : 18時30分～22時00分
場 所 : うぶやま天文台(ファームビレッジ産山)
主 催 : 産山村教育委員会

観察対象 : 水星、冬の星座、M42オリオン大星雲
冬のダイヤモンド、冬の大三角
カノープス(南極老人星)

持参物 : 防寒着
星座早見盤(学校等で制作したもの)
一般参加者で持ってない人には当日配布します。

※当日17時までにはお知らせ端末にて連絡します。

上記につきましては産山村外の方は産山村教育委員会(0967-25-2214)までご連絡下さい。

7日に天候不良で実施できない場合は8日(金)に延期して実施予定です。



オリオン大星雲 (M42)

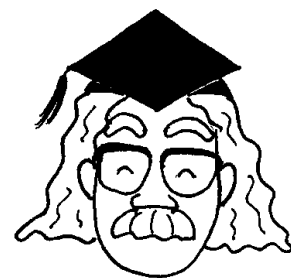
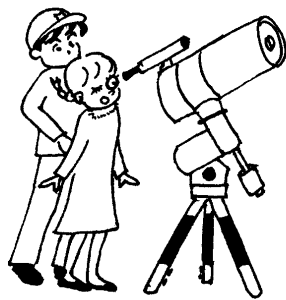


冬のダイヤモンド



冬の大三角
(ベテルギウス、プロキオン、シリウス)

カノープスは、産山では3月下旬の19時頃地平線すれすれに南中して約2時間観察できます。この星は南の空低くにあり関東以北では見ることができず、古来中国では寿老人、南極老人星と呼ばれ、見た人は長生きすると言い伝えられています。



うぶやま星博士

金星は、昨年10月から明け方の東の空に明けの明星として輝いています。1月初旬に西方最大離角（太陽の西側に最も離れる）になり、光度は-4等星で大変明るく輝いています。今年の9月に太陽と重なる外合となり、それ以降は宵の明星として夕方西の空に輝きます。